PAT-NO: JP363055377A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 63055377 A

TITLE: COMPRESSOR

PUBN-DATE: March 9, 1988

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
SHIBATA, AKIRA
SEHATA, KUNIO
ARAKI, KUNINARI
SATO, KENJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY HITACHI LTD N/A

APPL-NO: JP61197102

APPL-DATE: August 25, 1986

INT-CL (IPC): F04B039/00, F04C029/00

US-CL-CURRENT: 417/269, 417/415

ABSTRACT:

PURPOSE: To reduce noise, by **coating** a part of a surface of a closed vessel

of a compressor with sound insulating and vibration regulating paint to prevent

heat accumulation in the compressor.

CONSTITUTION: A surface of a closed vessel 4 with which a $\underline{\text{stator}}$ 3 of a

rotary type compressor is brought into contact is coated with a primary coat

film 5. A sound insulating and vibration regulating coat film 6 is applied to

an outer circumference of the closed vessel 4 in stripe shapes of any desired

width by spraying or roller **coating** and is baked in such a manner

that it covers a <u>stator</u> unit. With the arrangement, noise can be prevented without damaging a <u>heat</u> radiating property of the compressor.

COPYRIGHT: (C) 1988, JPO&Japio

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-55377

(1) Int Cl.4

識別記号

庁内整理番号

母公開 昭和63年(1988)3月9日

F 04 B 39/00 F 04 C 29/00

1 0 1 T-6907-3H 8210-3H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

の発明の名称 圧縮機

②特 頭 昭61-197102

晃

愛出 願 昭61(1986)8月25日

⑫発 明 者 柴 田

栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所

栃木工場内

20発明者 瀬端 久仁雄

栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所

栃木工場内

⑫発 明 者 荒 木 邦 成

栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所

栃木工場内

⑩発明者 佐藤 賢二

栃木県下都賀郡大平町大字富田800 株式会社日立製作所

栃木工場内

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

H. 13

砂代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

圧 縮 機

- 2. 特許請求の範囲
 - 1. 圧縮機を構成する密閉容器表面の一部に防音制振塗装を施したことを特徴とする圧縮機。
- 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は圧縮機に係り、特に防音性と放熟性に好適な圧縮機に関するものである。

〔従来の技術〕

従来の圧縮機は特報昭48-4641号に記載のようにローターとステータ部の摩擦音及び吐出井の開閉音などの減音について改善されたものがある。

また防音対策として密閉容器の外周に防音材を 巻きつけ滅音している例もある。

(発明が解決しようとする問題点)

上記従来技術は、圧縮機密閉容器内部の減音対策や密閉容器外周に防音材を終き減音しているも

のの、密閉容器本体には防音のための配慮はなされていなかった。そのため、ローターやステータから密閉容器に伝わった振動は圧縮機取付ペースやパイプ等に伝達して騒音となる問題があった。

本発明の目的はロータリー形圧縮機の蓄熱を防止し、圧縮性能を摂うことなく、騒音を低下させることにある。

(問題点を解決するための手段)

上記目的は、圧縮機を構成する密閉容器表面の 一部に防音制振塗装を施したものである。

「作用」

密閉容器の一部に施された防音制振逸料は、密 閉容器内からの騒音を遮音する。それによって、 密閉容器内からの騒音を低減することができる。 〔実施例〕

以下、本発明の詳細を図に示す実施例で説明すると、第1図は本発明を実施したロータリー形圧 縮機の断面図で、1はクランクシャフト、2はローター、3はステーター、4は密閉容器を示す。 密閉容器全面には予め溶剤形塗料、例えばメラミ ンアルキド樹脂塗料などが塗装し焼付けられている。その上に防音制 振塗料をスプレー塗装工法、ローラーコート工法等によって塗装し、焼付けし、 塗膜を形成させた状態を示すものである。

第2回は、圧縮機ステータ部の断面拡大図であ り、5は下地塗装膜、6は防音制振盤膜を示す。

上記防音制振途膜 6 を施す場所によっては圧縮 機の放熱を損うことなく、防音制振効果を満足す る領域がある。

すなわち防音制振途膜 6 を 0.0 5 ~ 5 mmの厚さとし、ステータ部をつつむように密閉容器の外間に任意の幅で帯状に塗装することによって、放熱性と防音制振効果の双方を満足することができる領域である。

(発明の効果)

本発明によれば、圧縮機の放熟性を扱うことなく、防音制振効果を与え、騒音を防止させる効果がある。

また防音制振塗装を行うことにより、従来使用していた高価な防音材を除去できることにより、

原価低減効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を備えた防音制振逸料を逸装したロータリー形圧縮機の断面図、第2図は第1図の密閉容器の断面を拡大した断面図である。

1 … クランクシャフト、 2 … ローター、 3 … ステーター、 4 … 密閉容器、 5 … 下地塗膜、 6 … 防音制振塗膜。

代理人 弁理士 小川 時 男

